



平成29年5月15日

各 位

会社名 株式会社クレストック
代表者名 代表取締役社長 高林 彰
(コード：7812 東証JASDAQ)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 三輪 雅人
(TEL. 053-435-3553)

〔訂正・数値データ訂正〕「平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成28年11月11日に開示いたしました「平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、本日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
 コード番号 7812 URL http://www.crestec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,506	△13.3	150	245.7	151	359.6	92	—
28年6月期第1四半期	4,046	—	43	—	32	—	8	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 69百万円(—%) 28年6月期第1四半期 △236百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	30.47	—
28年6月期第1四半期	2.53	—

(注) 当社は、平成27年6月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	10,913	3,275	25.4	912.00
28年6月期	10,842	3,236	25.2	899.07

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 2,770百万円 28年6月期 2,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,931	△10.5	652	28.1	549	76.0	254	38.8	83.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期1Q	3,248,900株	28年6月期	3,248,900株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	210,630株	28年6月期	210,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期1Q	3,038,270株	28年6月期1Q	3,214,639株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境は改善傾向にあるものの、継続的な円高により輸出企業を中心とした企業収益に足踏みがみられ、先行き不透明な状況となっております。

一方、世界経済においては、米国経済が引き続き堅調に推移していますが、欧州ではイギリスのEU離脱問題により先行きに不安を抱える状況となっております。また、中国は過剰投資が重しとなり景気減速が継続、更に東南アジアにおいても成長が鈍化し、先行き不透明な状況となっております。

このような経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,506,061千円（前年同期比13.3%減）、営業利益は150,362千円（前年同期比245.7%増）、経常利益は151,300千円（前年同期比359.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92,565千円（前年同期比1,037.0%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

輸送機器メーカーの業績は円高の影響はあるものの引き続き安定しており、当社との取引も堅調でした。情報機器メーカーにおいては、一部消費者向けに不調はあるもののオフィス向けが引き続き安定しており、当社との取引も堅調な動きでした。また、当第1四半期は主要顧客との取引においては例年通りではありますが、一部で季節性要因の影響を受けております。なお、医療機器・ヘルスケア製品分野のメーカーでは引き続き堅調な動きでした。

このような状況のもとで、日本では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,020,428千円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は34,097千円（前年同期はセグメント損失12,372千円）となりました。

② 中国地域

情報機器メーカーでは、オフィス向け製品は引き続き安定的な生産となっておりますが、中国の製造業では全般的に消費者製品を中心に生産量の減少が続いております。これにより当社との取引も低調でした。一方で医薬品、医療機器、ヘルスケア製品メーカーは中国政府の国策もあり引き続き伸びており、当社との取引も華東地区中心に安定化してまいりました。更に、華南地区では新たな取引として日用品・食料品分野でグローバルメーカーとの取引も始まっています。また、円高の進行による当年度の売上高への影響額は、前年同期の為替レートを基準とした場合207,967千円の減少となります。

このような状況のもとで、中国では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は822,157千円（前年同期比19.6%減）、セグメント利益は17,066千円（前年同期比54.7%増）となりました。

③ 東南アジア地域

フィリピンやベトナムでは中国からの生産移管も落ち着いてきましたが、引き続き情報機器メーカー中心に生産量は安定しており、当社との取引も堅調でした。一方でインドネシアやタイでは輸出型製造業の生産や新規投資が引き続き停滞しており、当社との取引も低調でした。また、円高の進行による当年度の売上高への影響額は、前年同期の為替レートを基準とした場合253,662千円の減少となります。

このような状況のもとで、東南アジアでは、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,370,657千円（前年同期比14.4%減）、セグメント利益は39,331千円（前年同期比4.6%減）となりました。

④ 欧米地域

米国ではメインである輸送機器メーカーとの取引は引き続き堅調でした。更に生産効率の改善による効果もあり、収益性の改善が進んでおります。欧州ではメインである輸送機器メーカーやクリスマス商戦に向けたゲーム機器メーカーの増産も有り、当社との取引も安定的に推移しました。また、円高の進行による当年度の売上高への影響額は、前年同期の為替レートを基準とした場合56,112千円の減少となります。

このような状況のもとで、欧米では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は292,817千円（前年同期比28.8%減）、セグメント利益は68,145千円（前年同期比1,063.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,952,711千円となり、前連結会計年度末に比べ48,008千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が213,143千円増加いたしました。受取手形及び売掛金が111,761千円、その他が177,897千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,960,809千円となり、前連結会計年度末に比べ119,199千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が129,936千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,913,520千円となり、前連結会計年度末に比べ71,191千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,245,970千円となり、前連結会計年度末に比べ339,041千円増加いたしました。これは主に短期借入金が524,041千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,391,679千円となり、前連結会計年度末に比べ307,155千円減少いたしました。これは主に長期借入金が294,963千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,637,649千円となり、前連結会計年度末に比べ31,885千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,275,871千円となり、前連結会計年度末に比べ39,306千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が62,183千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の連結業績予測につきましては、平成28年8月10日の「平成28年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,025,734	3,238,877
受取手形及び売掛金	2,650,466	2,538,704
商品及び製品	845,281	878,621
仕掛品	498,429	486,623
原材料及び貯蔵品	249,030	251,676
繰延税金資産	207,513	210,849
その他	528,487	350,590
貸倒引当金	△4,224	△3,231
流動資産合計	<u>8,000,719</u>	<u>7,952,711</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	515,287	512,467
機械装置及び運搬具（純額）	1,082,303	1,221,372
工具、器具及び備品（純額）	177,332	172,307
土地	206,977	205,689
有形固定資産合計	<u>1,981,901</u>	<u>2,111,837</u>
無形固定資産	143,256	137,005
投資その他の資産		
投資有価証券	86,079	88,094
退職給付に係る資産	28,254	33,435
繰延税金資産	277,214	274,299
その他	330,288	321,521
貸倒引当金	△5,385	△5,385
投資その他の資産合計	<u>716,451</u>	<u>711,966</u>
固定資産合計	<u>2,841,610</u>	<u>2,960,809</u>
資産合計	<u>10,842,329</u>	<u>10,913,520</u>

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030,056	975,239
短期借入金	1,909,346	2,433,388
1年内返済予定の長期借入金	1,049,720	1,024,245
リース債務	73,467	63,450
未払法人税等	86,050	96,534
賞与引当金	91,609	140,970
未払金	<u>414,828</u>	340,377
その他	<u>251,848</u>	<u>171,763</u>
流動負債合計	<u>4,906,929</u>	<u>5,245,970</u>
固定負債		
長期借入金	2,359,614	2,064,651
リース債務	95,069	82,798
役員退職慰労引当金	46,337	48,261
退職給付に係る負債	189,709	195,786
その他	<u>8,104</u>	181
固定負債合計	<u>2,698,834</u>	<u>2,391,679</u>
負債合計	<u>7,605,764</u>	<u>7,637,649</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,400	215,400
資本剰余金	140,400	140,400
利益剰余金	<u>2,967,978</u>	<u>3,030,161</u>
自己株式	<u>△159,527</u>	<u>△159,527</u>
株主資本合計	<u>3,164,251</u>	<u>3,226,434</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,271	△9
為替換算調整勘定	△391,398	△416,990
退職給付に係る調整累計額	△39,951	△38,536
その他の包括利益累計額合計	<u>△432,621</u>	<u>△455,535</u>
非支配株主持分	504,934	504,973
純資産合計	<u>3,236,565</u>	<u>3,275,871</u>
負債純資産合計	<u>10,842,329</u>	<u>10,913,520</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	4,046,061	3,506,061
売上原価	3,138,913	2,615,829
売上総利益	907,148	890,231
販売費及び一般管理費		
役員報酬	11,790	12,165
給料	309,592	284,636
賞与引当金繰入額	19,152	20,946
役員退職慰労引当金繰入額	1,936	1,924
退職給付費用	27,074	13,080
貸倒引当金繰入額	366	153
減価償却費	24,567	20,435
賃借料	82,700	63,186
研究開発費	19,713	8,859
その他	366,754	314,480
販売費及び一般管理費合計	863,649	739,868
営業利益	43,499	150,362
営業外収益		
受取利息	2,280	2,142
受取配当金	103	—
作業くず売却益	7,138	7,516
助成金収入	5,315	14,312
その他	10,006	4,498
営業外収益合計	24,845	28,470
営業外費用		
支払利息	28,367	24,926
その他	7,055	2,605
営業外費用合計	35,423	27,531
経常利益	32,921	151,300
特別利益		
固定資産売却益	1,482	9,086
特別利益合計	1,482	9,086
特別損失		
固定資産除却損	—	4,867
特別損失合計	—	4,867
税金等調整前四半期純利益	34,403	155,518
法人税、住民税及び事業税	37,061	64,314
法人税等調整額	△17,788	△11,613
法人税等合計	19,274	52,700
四半期純利益	15,130	102,818
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,988	10,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,141	92,565

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	15,130	102,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,260	1,262
為替換算調整勘定	△256,263	△35,806
退職給付に係る調整額	5,816	1,414
その他の包括利益合計	△251,708	△33,129
四半期包括利益	△236,578	69,688
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△220,112	69,650
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,466	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>1,012,286</u>	1,022,335	1,600,358	411,081	<u>4,046,061</u>	—	<u>4,046,061</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153,125	37,281	9,146	49,807	249,360	△249,360	—
計	<u>1,165,411</u>	1,059,617	1,609,504	460,889	<u>4,295,422</u>	△249,360	<u>4,046,061</u>
セグメント利益 又は損失 (△)	<u>△12,372</u>	11,035	41,219	5,857	<u>45,740</u>	△2,241	<u>43,499</u>

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>1,020,428</u>	822,157	1,370,657	292,817	<u>3,506,061</u>	—	<u>3,506,061</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111,164	34,565	6,857	60,999	213,587	△213,587	—
計	<u>1,131,593</u>	856,723	1,377,515	353,816	<u>3,719,648</u>	△213,587	<u>3,506,061</u>
セグメント利益	<u>34,097</u>	17,066	39,331	68,145	<u>158,639</u>	△8,277	<u>150,362</u>

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。